



GN地域における外資系企業の活動事例（地域経済に貢献）



進出後の成果

GN地域の自動車メーカー（OEM）との新規取引拡大を実現

企業概要

- ・ 日本法人：ゲスタンプ・ホットスタンピング・ジャパン株式会社（三重県松阪市）
- ・ 親会社：Gestamp Automocion社（スペイン）
- ・ 進出時期：2018年 ※2016年に東京都内に日本法人設立、工場設立に伴い本社移転
- ・ 拠点形態：本社・製造拠点



工場外観



ホットプレスライン

事業概要

世界最大の自動車プレス部品メーカー、ゲスタンプ・オートモション社（1997年設立）の日本生産拠点。同社は、主要自動車メーカー向けに高度に設計された金属部品の設計、開発、製造を専門とする多国籍企業である。革新的な設計で製品を開発し、より軽量で安全な車両を製造することを通じて、燃費改善と環境負荷を低減している。同社の製品は、車体製品（ボディ・イン・ホワイト：BIW）、シャーシ、メカニズムの分野をカバーしている。自動車の軽量化、衝突安全性向上に貢献する「ホットプレス技術」に強み。

進出背景

- ・ Gestamp Automocion社（親会社）は世界24か国の製造拠点、世界各地に13のR&D拠点を有する世界最大手の自動車プレス部品メーカーの一社。2006年にアジア進出を果たし、アジア地域の統括拠点を上海に設置。アジアでは、日本（当社）のほか、中国に13工場、インドに4工場、韓国に1工場を有する。
- ・ 日本の自動車メーカー（OEM）に対するプレゼンス向上および拡販のため、日本進出を決定。日本での新工場設立にあたり、マイノリティ株主である三井物産(株)からも多岐に亘る支援を受けた。
- ・ 立地場所の選定について、土地の広さなど諸条件の合う整地済みの工業団地があり、早期開業が実現できることが大きな理由。加えて、自治体（三重県や松阪市）の企業誘致への熱意とインセンティブ（補助金）も進出を決めた理由の一つである。

地域経済への貢献

- ・ 従来の冷間プレスに比べ、複雑な形状を高強度、かつ、最適に軽量に形成する革新的な技術であるホットスタンプ（熱間プレス）を強みとして、コスト削減、二酸化炭素排出量抑制への効果も提案し、受注獲得に向け営業活動を続けた結果、GN地域のOEMとの新規取引拡大に繋がった。OEMへのアクセス至便な立地も相俟って、現在は主要取引先となり、GN地域の自動車部品サプライヤーの一翼を担っている。
- ・ 取引先からの受注拡大に備え、工場拡張、生産ラインの増設など新たな投資も行い、業績も順調に伸びている。
- ・ 従業員数も2023年末には107人まで増加、地域の雇用創出に貢献するとともに、雇用の安定化に向けて正規社員雇用を増やしていく。